

指定管理導入施設実績評価シート（令和5年度）

			施設所管課		都市計画部公園緑地課	
施 設 名	ブランチパーク(近江神宮外苑公園)					
指定管理者	大和リース株式会社					
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和9年3月31日					
指定管理料	年額	16,500,000	円(令和5 年度)	(総額	66,000,000	円)
設置目的	賑わいと市民の交流を創出し、健康で生き生きとした豊かな生活を支える場所として活用されることを目的としております。					
業務内容	(1)公園を利用に供する業務 (2)有料公園施設の使用(その目的以外の使用を除く)の許可に関する業務 (3)公園の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4)その他市町が定める業務					

所管課 総合評価	I～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント 各事業について、概ね事業計画どおり実施しており、実施体制については良好であった。 全体収支においては、計画比及び前年度比ともに伸長しており、適正な水準であると言える。また、利用者の増加に向けた取り組みとして、商業施設と連携した積極的な広報活動や誘致活動を実施していた点は一定評価できる。 次年度以降についても、様々な事業実施するとともに、商業施設及びびわ湖大津館と連携し、認知度の向上及び施設の利用促進に取り組まれない。
	B (良好)	

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
I 実施体制	施設の設置目的の達成 ☐ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	目的に沿って適切に管理運営行った。	B (良好)	施設の設置目的に沿って、管理運営を行っていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 ☐ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 ☐ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 ☐ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 ☐ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B (良好)	事業計画に基づき、適切に管理した。	B (良好)	事業計画に基づき職員を配置しており、勤務条件や労働条件も適正であった。
	職員の研修 ☐ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	マナー講習の他に、1級造園技師による植栽に関する内部講習を実施し、安全管理意識向上に努めた。	B (良好)	マナーや植栽管理に関する研修を実施することで、適切な維持管理及び運営に努めていた。
	法令等遵守 ☐ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	法令に基づき遵守した。	B (良好)	関係法令等を遵守していた。
	個人情報保護・情報公開 ☐ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B (良好)	協定書に基づき施錠可能な場所（鍵付きキャビネット）で適切に保管・管理した。	B (良好)	個人情報等の書類について、施錠可能な場所で適切に保管していた。
	管理記録 ☐ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 ☐ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	管理事務所にて適切に保管した。	B (良好)	業務日誌や修繕記録等について、管理事務所内にて適切に記録・保管していた。
	連絡体制 ☐ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 ☐ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	連絡体制を構築し、適正に行った。また、事業報告書についても期限内に提出した。	B (良好)	市と指定管理者間の連絡調整に問題はなく、事業報告書の提出や内容についても適正であった。
	緊急時対応 ☐ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 ☐ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	事故・災害等の緊急時の連絡体制を構築した。また、毎月の自主消防訓練に加え、年2回の法定訓練を実施した。	B (良好)	緊急時の連絡体制を構築しており、緊急連絡網を事務所内に掲示していた。また、毎月緊急事態を想定した訓練を実施していた。
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】			B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和5年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内容・水準	施設管理 ☐ 開館日、開館時間を遵守していたか。 ☐ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	開館日、開館時間等を遵守し、適宜巡回し安全確保に努めた。	B (良好)	施設の利用時間を遵守していた。また、適宜巡回を行い安全確保に努めていた。
	利用状況 ☐ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	有料施設利用についての認知度が高まったことから利用件数前年度比107.4%と増加した。しかし利用件数計画比60.7%と達せず、告知強化などを行い更なる認知拡大に努める。	B (良好)	新規利用者の獲得に課題はあるが、前年度比において、利用件数は伸長しており、適正な水準であるといえる。しかしながら、計画比には未達のため、利用者の増加に向け、告知強化等に努められたい。
	利用者対応 ☐ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 ☐ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 ☐ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	有料施設の社内規則の運用ルールに基づき、服装・言葉遣い等に注意し、適切に接遇した。また施設及び備品については適宜提供した。	B (良好)	利用許可や案内等に問題はなく、服装や言葉使いも適切であった。
	業務運営(全体) ☐ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 ☐ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	事業計画に基づき概ね実施した。また、施設と自主事業を連携させたイベントを通じ1,400人以上の方を誘致した(前年比109.6%)	B (良好)	概ね事業計画どおりに実施していた。また、商業施設と連携したイベントなどを実施することで、公園利用の促進に取り組んでいた。
	自主事業運営 ☐ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 ☐ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 ☐ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 ☐ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	事業計画に基づき概ね実施した(公園イルミネーションは資機材高騰により未実施)。マルシェやアウトドアフィットネス等、幅広いコンテンツを展開したことから、自主事業売上計画比102.1%前年度比123.8%を達成した。	B (良好)	資機材高騰により一部事業が未実施となったが、その他の事業に関しては、概ね事業計画どおり実施していた。自主事業収入については、前年度比において伸長しており、適正な水準であるといえる。
	維持管理 ☐ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 ☐ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 ☐ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 ☐ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 ☐ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	A (優良)	計画に基づき概ね実施した。スポーツエリア・コミュニティエリアの刈込は芝生の傷みが見られたため12回→9回へと減少させ、計画外である芝生内除草を32回/年実施した。	A (優良)	計画回数以上に除草を行っており、施設の状況に応じた管理を行うことで、美観維持に取り組んでいた点は評価できる。
	情報提供 ☐ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 ☐ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	施設と連携したSNSのフォロワー数は令和5年度で2,311人増加した(令和4年度増加数1,202人)。また年間129の記事を投稿した。また適宜HPの管理更新を行った。	B (良好)	HPやSNSを活用し、イベント情報などの発信に取り組んでいた。
	環境配慮 ☐ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	管理棟内の空調を節減するよう努めた。	B (良好)	不要な空調を使用しないなど、節電に取り組み、前年度同期比において、使用料の縮減を達成していた。
	意見・要望・苦情 ☐ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 ☐ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	ホームページ・パンフレットなどに連絡先を明記し、仕組みを構築しており、現時点では大きな苦情等はなかった。	B (良好)	ホームページやパンフレットなどに連絡先を明記し、意見や要望を取得する仕組みを構築していた。
	利用者アンケート ☐ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	商業施設イベントと連携し、アンケートを実施した。令和5年度取得数685の内150が公園を目的とした来園の結果となった。引き続きアンケート取得し魅力向上に努めていく。	B (良好)	随時、アンケートを行い、利用者の来園目的などの基礎データ収集に取り組んでいた。
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準10項目／当施設10項目】			B (良好)		B (良好)	
Ⅲ 収支等	経理事務 ☐ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 ☐ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 ☐ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	帳簿を作成し、適正に管理した。	B (良好)	経理事務について、複数人でチェック、管理する体制を整えており、帳簿等の管理は適正であった。
	収支状況 ☐ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 ☐ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	A (優良)	指定管理料(16,500,000円)を除く管理収入計画比:236.0% 管理収入前年度比:105.3% 自主事業収入計画比:104.5% 自主事業収入前年度比:122.3% の結果となった。管理収入については駐車場売上が伸長し、自主事業は積極的な誘致を行ったことで計画比、前年度比ともに上回る結果となった。	A (優良)	施設利用料金収入において、計画比94.4%と僅かに下回ったものの、前年度比においては100.7%と微増した。また、管理事業及び自主事業の全体収支において、計画比+5,657千円、前年度比+2,114千円となり、それぞれ大幅に上回る結果となったことは評価できる。
	経費節減の取組 ☐ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 ☐ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	商業施設と一体となった管理を行い、継続的な経費の節減に取り組んだ。	B (良好)	商業施設と一体的な管理を行うことで、経費を節減していた。
	《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】		B (良好)		B (良好)	
Ⅳ その他(独自の取組等)	その他 ☐ びわ湖大津館との連携を強化し、イベント等を展開いたします。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	びわ湖大津館と連携し、各種イベントのチラシ配架を行い、来園者数増に繋がるよう取り組んだ。	B (良好)	近隣の公園施設である柳が崎湖畔公園と連携した広報活動を実施し、双方の公園利用促進に取り組んでいた。
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設1項目】		B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和5年度）

主な成果 (全体)	使用料(利用料)収入	目標	1,800,000 円	⇒	実績	3,908,681 円	※芝生グラウンド及び駐車場利用料金
	稼働率	目標	23.5 %	⇒	実績	21.09 %	※芝生グラウンドのみ
	利用者数	目標	4,350 人	⇒	実績	3,857 人	※芝生グラウンド利用者数のみ
	【指定管理者コメント】						
	年間を通じて適切に管理運営を行った。 有料施設における ・利用件数計画比:60.7%、前年度比:107.4% ・利用人数計画比:88.6%、前年度比:112.8%と前年度比は達成したものの、計画は下回った為、さらなる認知向上の取組を強化する。						
【施設所管課コメント】							
利用者数や稼働率において、計画には至らなかったものの、商業施設やびわ湖大津館と連携した広報活動及び誘致活動を積極的に実施したことにより、前年度より伸長していることは一定評価できる。 次年度以降についても、引き続き商業施設やびわ湖大津館と連携し、認知度の向上及び施設の利用促進に取り組まれない。							

自主事業 実施による 成果	＜主な自主事業の実施状況＞				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
	マルシェ	自主事業	手作り作家によるマルシェ	実施	
	ビアガーデン	自主事業	隣接商業施設との連携賑わい創出イベント	実施	
	アウトドアフィットネス	自主事業	健康促進イベント	実施	
	スケートボード教室	指定自主事業	指定自主事業	実施	
	【指定管理者コメント】				
	新型コロナウイルスも落ち着き、積極的にサッカー教室をはじめ、マルシェ、スポーツイベントなど多彩な内容を展開したことにより、自主事業収入計画比104.5%、前年度比122.2%と伸長した。公園イルミネーションについては資材等価格高騰を受け、実施に至らなかった。今後他施設公園の状況も確認しながらよりよい内容が展開できるよう進めていく。自主事業は積極的な展開により十分な事業運営ができた。今後も多彩なコンテンツを展開できるよう努める。				
	【施設所管課コメント】				
	新型コロナウイルスの第5類移行に伴う人流の増加や、自主事業の積極的な展開により、多くの来場者があった。また、資機材等の価格高騰の影響により、支出は前年度比127.4%であった一方、収入については前年度比131.6%であった点は一定評価できる。 次年度以降についても、引き続き公園利用促進につながる事業の展開に取り組まれない。				

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】
	芝生の傷みが散見されることから、定期的に芝生の補植を行い、養生期間を設け、芝生の美観保持に努めた(令和5年7月-8月)。今後も利用が多くなるにつれ芝生が傷みやすくなることから、管理面では日々のチェックを徹底し、通常の管理業務以外での作業(除草や薬剤散布など)も実施することで美観保持に努めていく。
	【施設所管課コメント】
年度を通じて、利用件数の増加に伴う芝生グラウンドの損傷が課題ではあるが、仕様回数以上に除草や薬剤散布など実施することで、美観の維持に取り組んでいた。 次年度以降については、計画的な補植や養生により、芝生の維持・改善に取り組まれない。	

特記事項等	
-------	--

※評価基準:項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評価

提出

所管課評価

通知

指定管理者

送付

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)